

会告

第 66 回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会 及び一般演題募集のご案内（第 2 報）

各位

過日、下記の通り、第 66 回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会をご案内差し上げましたが、演題の応募が非常に少ない状況となっております。同日に第 22 回日本検査血液学会があること、あるいは“発表者は現地（広島）集会”とさせていただいたことに対するご懸念もあるのではないかと推察しています。

そのため、発表形式“発表者は現地（広島）集会”の原則を外させていただくことにしました。発表者におかれましても、各ご施設内あるいは第 22 回日本検査血液学会に出席しながらでも、ご参加できますので、多数の演題応募をお待ちしています。

第 66 回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会 会長

藤井輝久（広島大学病院）

日本輸血・細胞治療学会中国四国支部 支部長

和田秀穂（川崎医科大学病院）

<開催要項>

例 会 長：藤井 輝久（広島大学病院輸血部）

会 期：令和 3 年 9 月 11 日（土）12:00～17:30

会 場：広仁会館（広島大学霞キャンパス内）

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

（現地集会と Zoom webinar によるハイブリッド形式での開催）

プログラム：①総会（12:00～）

②共催セミナー（12:30～）

アルブミン適正使用と肝硬変 GL について（仮題）

愛媛大学医学部附属病院 消化器内科教授 日浅 陽一 先生

③一般演題（13:30～）

④特別講演（16:30～）

「好中球特異抗原の基礎と臨床」

日本赤十字社 中四国ブロック血液センター所長・広島大学名誉教授

小林 正夫 先生

*（ ）内は、現時点での開始時間の目安です。

参 加 費：1,000 円（会員・非会員、現地・オンライン参加同額です）

<一般演題応募要項及び具体的な発表形式>

応募方法：Word 文書にて演題名（50 字以内）、発表者、施設名、部署名、抄録（600 字以内）を作成いただき、電子メール添付にて事務局（yuketsu@hiroshima-u.ac.jp）までお送りください。

応募期間：～7月16日（金）迄（延長致しました）

発表形式：口演のみとさせていただきます。現地集会での発表ができない場合には、事前（約1週間前）に発表スライド（音声プレゼンテーション付き動画ファイル、例：パワーポイントで作成）のご提出をお願いします。質疑応答は、Zoom によるオンラインとなりますことをご了承下さい。

※参加により学会認定医、認定技師、認定臨床看護師等の更新ポイントが取得できます。

※オンラインでのご参加・発表方法につきましては、再度ご案内をさせていただきます。

《事務局》

第66回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会事務局

広島大学病院 輸血部長室内 担当：藤井宝恵、山崎尚也

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

Tel&Fax: 082-257-5581 E-mail: yuketsu@hiroshima-u.ac.jp